

# 名取雀蓮

なとりじゃくれん  
あんどすずめっこ

# &すずめっ子

結成：平成20年  
受賞歴：ぼんてんまる賞(平成16年)、いろはひめ賞(平成17年)、こじゅうろう賞(平成18年)、ろくうえもん賞(平成19年)(いずれも下増田すずめっ子時代)

2004年名取市下増田地区を拠点としていた子ども祭連「下増田すずめっ子」及び砂地を活かしたメロン(北釜クイーン)から名付けた大人祭連「クイーン名取」が発足。会員数が減少し、運営の危機にあった2009年「第57回日本PTA全国研究大会」が宮城県で開催され、名取市からの出演依頼を受け、子どもと大人、親子でも参加できる祭連を新たに結成。2つの祭連の名称を残し、現在の祭連名とし、1つの祭連に再結成しました。



名取雀蓮(大人)は、藤色(紫色)に祭連名を白抜き。すずめっ子(子ども)は、発足当時の法被(下増田すずめっ子)を使用。発足当時は、当祭連顧問(結成当時、下増田公民館長)が太鼓全般、すずめっ子及びクイーンの法被等の全てを私財で寄贈していただいた経緯があります。法被の柄は、名取市の木「クロマツ」、市の花「ハナモモ」と雀を配し、子どもは黄色と赤色を基調に配色し、大人はメロン色を地色としました。2009年祭連再結成時は、その法被をそのまま使用しておりましたが、大人のみ2010年に現在の法被を新調しました。みんなで話し合い、男女ともに着用でき、落ち着いた色「藤色」と決めました。



扇子は、濃ピンク「ハナモモ色」とグリーン「メロン色」のグラデーション。縁に金色。  
発足当時は、白扇子にカラスプレーで手作りのグラデーションと銀箔で装飾を加えておりましたが、現在は専門店に依頼して作って頂いております。  
伝統の「ハナモモ色」と「メロン色」は変えておりません。

コロナ禍により、2020年3月より練習を休んでおります。休んでいる間にすずめっ子たちは、大きくなり、大人の法被が似合うような年齢になってしまいました。2011年は震災により、法被などまつり道具が流され、練習ができずにおりましたが、地域の夏まつりや仮設住宅からの演舞依頼に元気をもらい、練習を再開してきたことを考えると、休んでばかりはいられませんね。コロナと付き合い合っていく方策を見出していかねば！！です。

